

【薬剤科教育プログラム】

薬剤科では、薬剤科全員で1年生（入職1年目）、2年生（入職2年目）を育てるという方針で人材育成を行っています。入職してからの期間に応じて効果的な研修になるように教育プログラムを作成しています。



1年生対象の研修（2025年度）

実施日	テーマ	担当
5月初旬	宿直業務のおさらい、基礎研修	教育担当者
5月中旬	腎機能の正確な評価	教育担当者
5月下旬	バンコマイシンの投与設計、TDM	感染制御専門薬剤師
6月初旬	医療用麻薬、緩和薬物療法	緩和薬物療法専門薬剤師
7月	がん化学療法の考え方	がん専門薬剤師
11月	不穏時、不眠時薬の使い方	認知症研修認定薬剤師

まずは、6月までに中央業務や宿直業務を完全にマスターすることを目標としています。宿直業務開始前には、腎機能の正確な評価、バンコマイシンのTDM、緩和薬物療法をテーマに、薬剤師の基礎となる内容を集中的に学びます。

病棟業務が始まる時期には、がん化学療法の考え方や不穏時・不眠時の薬物療法をテーマに、専門的な内容を学ぶための土台を築きます。形だけの知識ではなく、研修後すぐに実践で活用できる知識やスキル、困ったときに役立つ知識やスキルの習得に重点を置いた研修内容としています。

2年生対象の研修（2026年度）

実施日	テーマ	担当
4～6月	症例検討会	教育担当者
4月	フォローアップ研修（1年生向け研修のチューター）	教育担当者
8月	医薬品鑑別のスーパースキル	教育担当者
1月	血ガスの考え方	教育担当者
随時	けもけん	がん専門薬剤師
3年生まで	学会発表	

2年目には、症例検討会を通して、学会発表に必要なスキルや多角的な視点を身につけるための訓練を行います。当院薬剤科の症例検討会は、ざっくばらんな雰囲気の中で活発な意見交換を行っています。

また、2年目の薬剤師が1年目向け研修のチューターとして参加することで、基礎業務を振り返るとともに、指導力を磨きます。4年目までには、1年目向けの研修を主体的に担当できるようになることを目標としています。

さらに、2026年度からは、希望者を対象としたケモ検定（通称「けもけん」）を実施します。初段、二段、三段、名人の順に難易度が上がっていきませんが、名人を目指して楽しみながらがん化学療法をマスターできるような仕組みを用意しています。